

2008年3月期
第3四半期説明会

2008年2月7日
ヤマハ株式会社

2008/3期 3Q決算の概要



3Qの状況

- 3Qは、前回予想(10/31発表)、前年同期とも減収営業増益
- 売上高は、ユーロ高による為替メリットがあったものの、AV、リビングが期待を下回り、全体では、前回予想に対し、1.4%の減収となった。
- 対前年同期では、事業譲渡した電子金属、レクリエーション4施設の影響を除けば、2.3%(34億円)の増収。
また、為替影響を除いた実質売上高では、楽器を中心に0.8%の増収
- 営業利益は、楽器が対前回予想、前年同期とも増益
- 3Q末在庫は、楽器、AV在庫が増加し、前回予想を上回るものの、ほぼ前年同期並みの水準

1~3Qの状況

- 4~12月の3四半期累計では、為替効果もあり、対前年同期増収増益。楽器は対前年同期増収大幅増益。電子機器・金属、リビングは減収減益
- 当期純利益は、営業益増とヤマハ発動機株式売却益の発生で対前年同期増益

2008/3期 3Q業績概要



▶ 対前年同期、前回予想とも減収営業増益

(億円)

| | 07/3 (3Q) 実績 | 08/3 (3Q) 実績 | 前年 同期比 | 前回予想 (07/10/31) | 前回予想比 |
|-----------------|--------------------|--------------------|-----------|--------------------|---------|
| 売上高 | 1,520 | 1,482 | ▲2.5% | 1,503 | ▲1.4% |
| 営業利益 (営業利益率) | 130 | 142 (9.6%) | + 9.0% | 122 | + 16.5% |
| 経常利益 (経常利益率) | 155 | 137 (9.3%) | ▲11.7% | 109 | + 25.9% |
| 当期利益 (当期利益率) | 125 | 114 (7.7%) | ▲8.6% | 87 | + 30.7% |

持分法損益

36

0

0

為替レート

売上高

US\$
EUR

118
152

113
164

115
155

利益

US\$
EUR

117
146

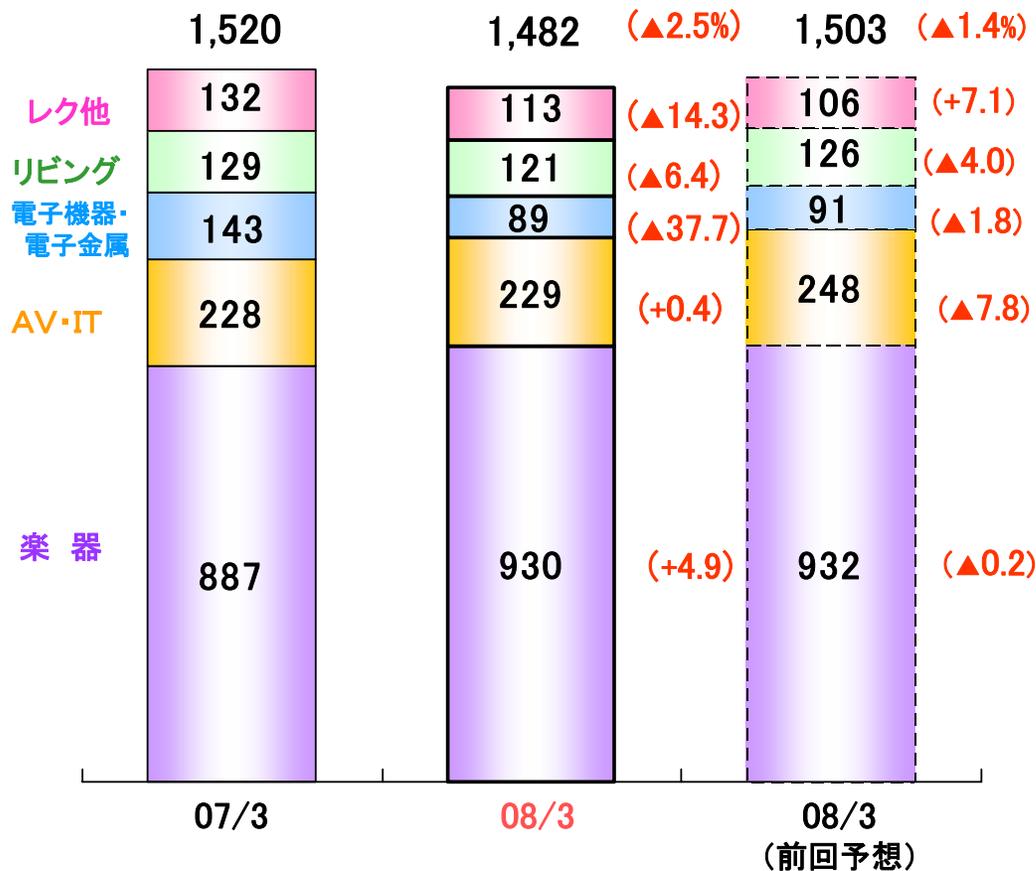
114
159

115
155

2008/3期 3Q事業別業績



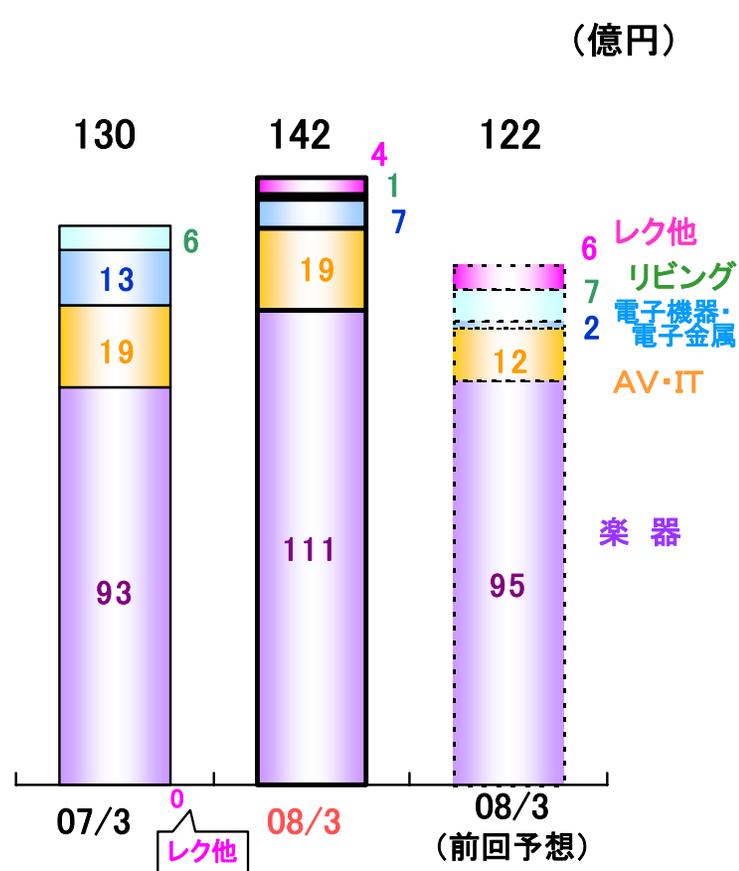
売上高



()内は前期比
または
前回予想比

前年同期との比較での為替影響は+22億円
(楽器+14億円、AV・IT+8億円)
また、前回予想との比較では+14億円
(楽器+9億円、AV・IT+5億円)

営業利益



前年同期との比較での為替影響は+17億円
(楽器+10億円、AV・IT+7億円)
また、前回予想との比較では+6億円
(楽器+3億円、AV・IT+2億円)

2008/3期 4Q業績予想



▶4Qは前回予想減収減益の計画

(億円)

| | 07/3 (4Q) 実績 | 08/3 (4Q) 予想 | 前年 同期比 | 前回予想 (07/10/31) | 前回予想比 |
|------|--------------------|--------------------|-----------|--------------------|-------|
| 売上高 | 1,339 | 1,251 | ▲ 6.5% | 1,270 | ▲1.5% |
| 営業利益 | 8 | ▲20 | - | 0 | - |
| 経常利益 | 41 | ▲23 | - | ▲5 | - |
| 当期利益 | ▲20 | ▲32 | - | ▲15 | - |

持分法損益

40

0

0

為替レート

売上高

US\$
EUR

119
156

115
155

115
155

利益

US\$
EUR

120
151

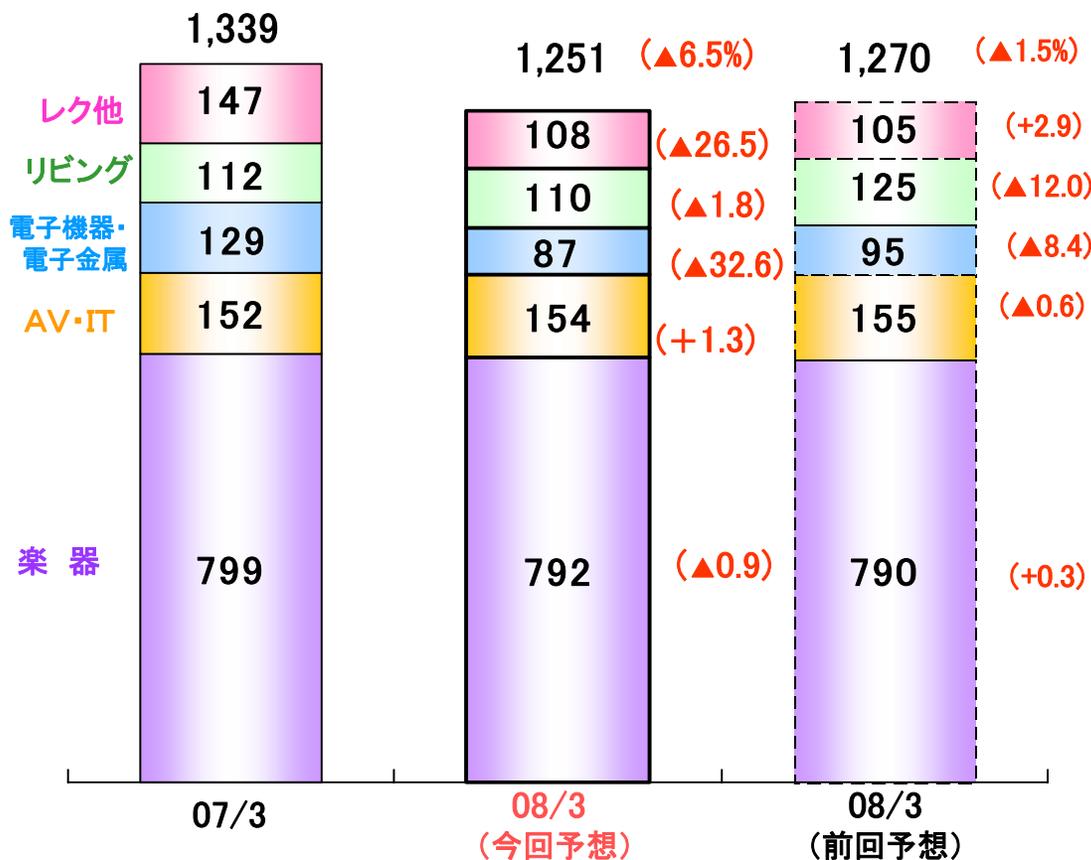
115
155

115
155

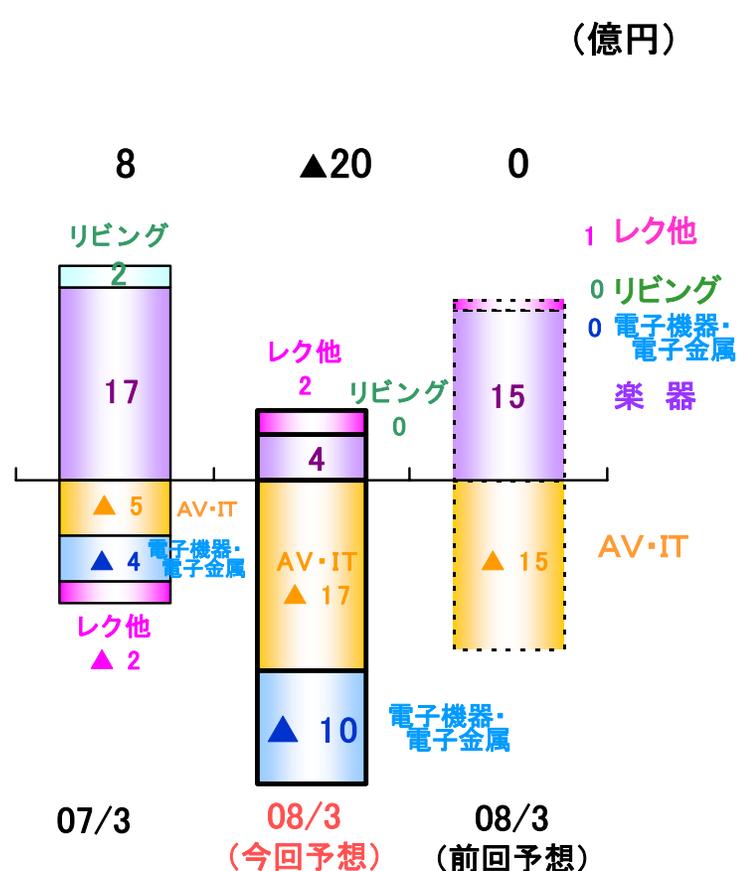
2008/3期 4Q事業別業績予想



売上高



営業利益



()内は前期比
または
前回予想比

前年同期との比較での為替影響は▲10億円
(楽器▲9億円、AV・IT▲1億円)
また、前回予想との比較では+1億円
(楽器+1億円)

前年同期との比較での為替影響は+3億円
(楽器+1億円、AV・IT+2億円)
また、前回予想との比較では0億円

2008/3期 通期業績予想



➢4Q為替レートは、US\$=115円、EUR=155円を前提

➢通期業績は前回予想に対し減収営業益据置

(億円)

(%)

| | 1Q~3Q 実績 | 4Q 予想 | 08/3期 (今回予想) | 08/3期 (前回予想) | 07/3期 実績 | 前回予想 変化率 | 前年実績 変化率 |
|-----------------|---------------|----------|-----------------|-----------------|---------------|-------------|-------------|
| 売上高 | 4,289 | 1,251 | 5,540 | 5,580 | 5,504 | ▲0.7% | +0.7% |
| 営業利益 (営業利益率) | 355 (8.3%) | ▲20 | 335 (6.0%) | 335 (6.0%) | 277 (5.0%) | - | +21.0% |
| 経常利益 (経常利益率) | 353 (8.2%) | ▲23 | 330 (6.0%) | 320 (5.7%) | 426 (7.7%) | +3.1% | ▲22.6% |
| 当期利益 (当期利益率) | 422 (9.8%) | ▲32 | 390 (7.0%) | 380 (6.8%) | 279 (5.1%) | +2.6% | +40.0% |

持分法損益

1

0

1

1

178

為替レート

1Q~3Q
実績

4Q
予想

08/3期
(今回予想)

08/3期
(前回予想)

07/3期
実績

売上高

US\$
EUR

117
163

115
155

117
161

117
159

117
150

利益

US\$
EUR

118
159

115
155

117
158

117
157

117
144

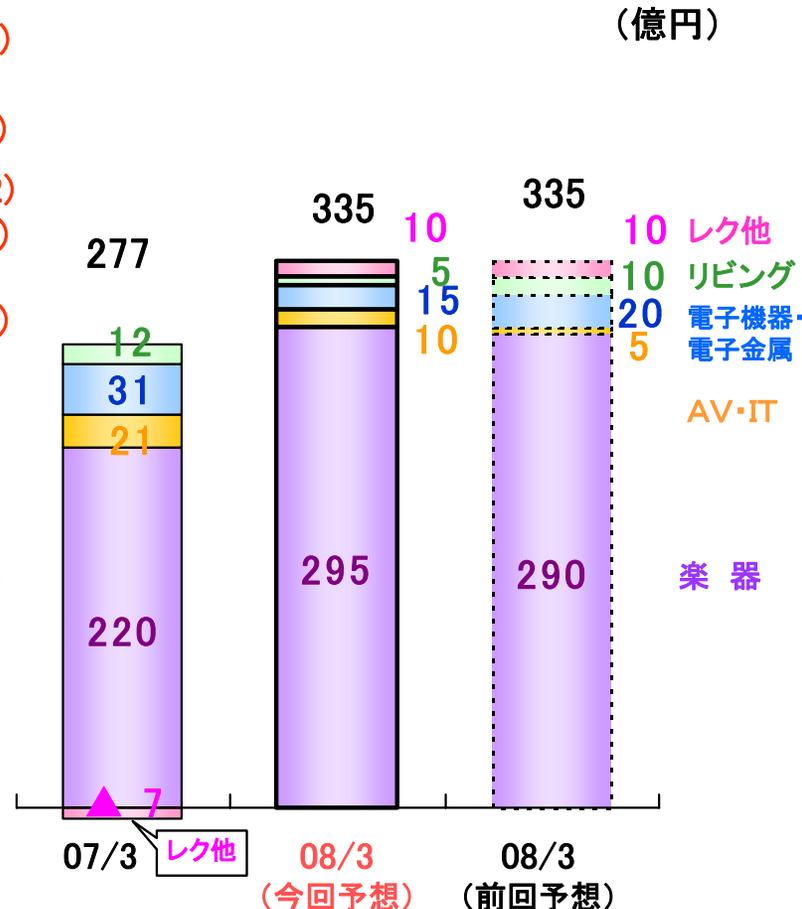
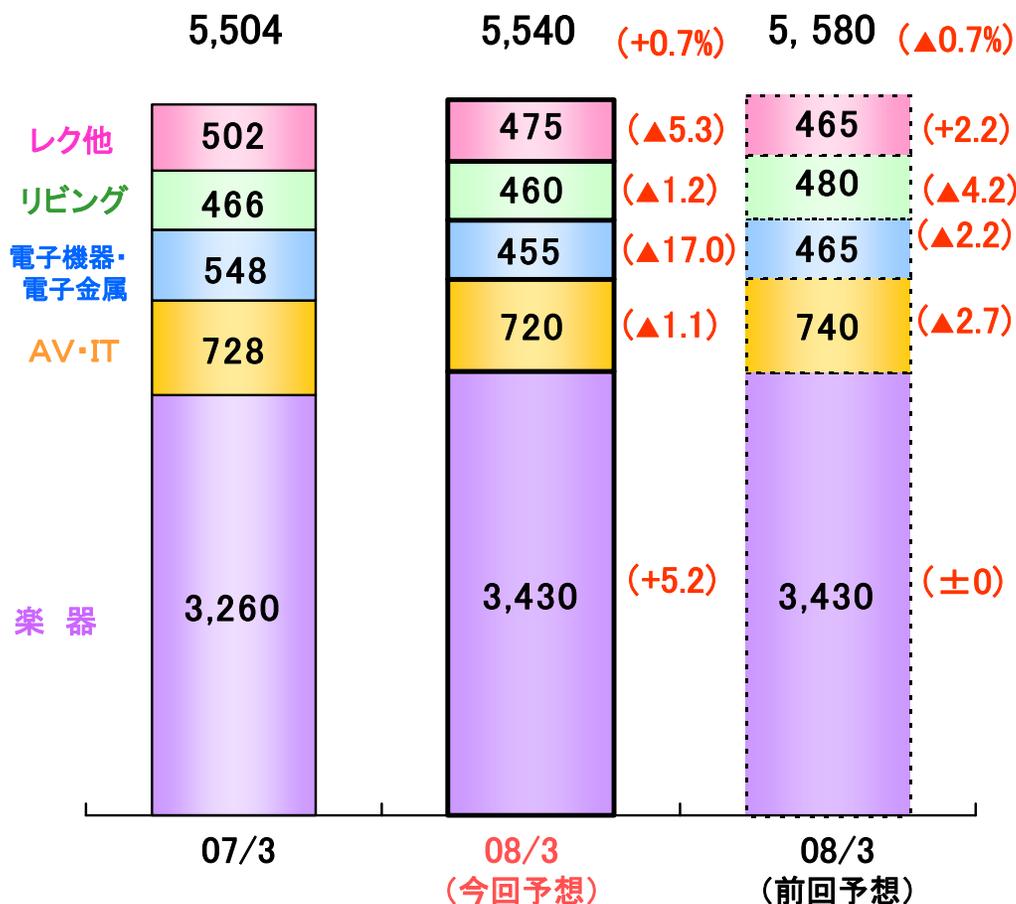
2008/3期 通期事業別業績予想



売上高

営業利益

(億円)



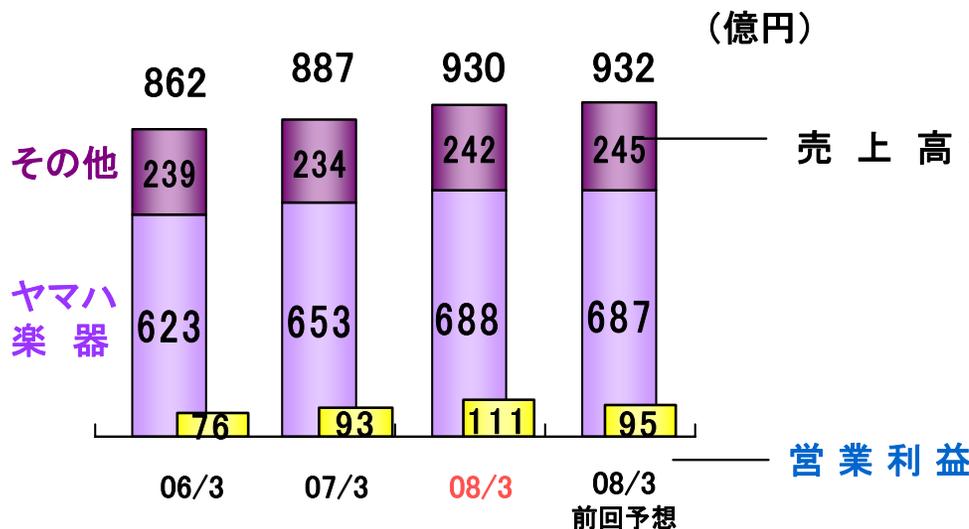
()内は前期比
または
前回予想比

前期との比較での為替影響は+102億円
(楽器+75億円、AV・IT+27億円)
また、前回予想との比較では+15億円
(楽器+10億円、AV・IT+5億円)

前期との比較での為替影響は+72億円
(楽器+56億円、AV・IT+16億円)
また、前回予想との比較では+6億円
(楽器+4億円、AV・IT+2億円)

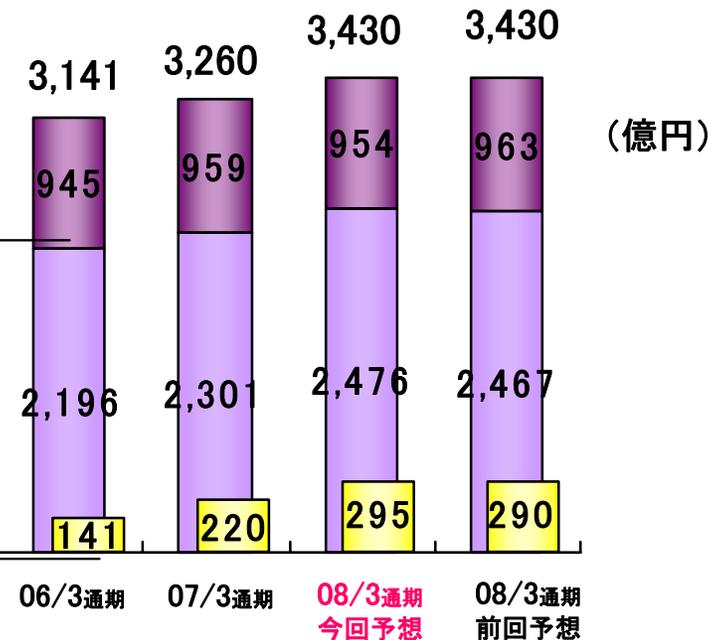
3Qの状況

- ・ ユーロ高効果もあり、対前年増収増益
- ・ 為替影響を除いた実質売上高は、前年同期比3.3%の増収
- ・ 中国等新興市場は2桁成長。欧州は実質2%の増収
一方、アメリカ市場は前年同期比4%の実質減収。
日本も年末商戦低調
- ・ 前回予想との比較では、実質1% (11億円) の減収。
- ・ 商品別には、電子楽器、管楽器、設備音響機器が対前年同期増収
- ・ 営業利益は、為替益に加え、売上構成の変化、コスト削減効果等により売上総利益が改善し、対前年同期、前回予想とも増益
- ・ 3Q末在庫は、売上計画未達で、前回予想を上回る水準

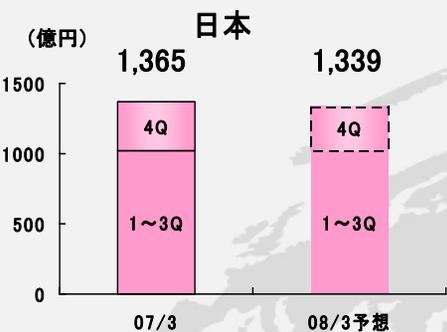


通期予想と4Q重点施策

- ・ 通期売上高は、前回予想据置
営業利益は若干の増益見込み
- ・ 新興市場での成長加速 (中国、中東、東欧等)
- ・ 業務用音響機器ビジネス強化拡大
- ・ 杭州、インドネシアでの増産対応とコスト競争力強化

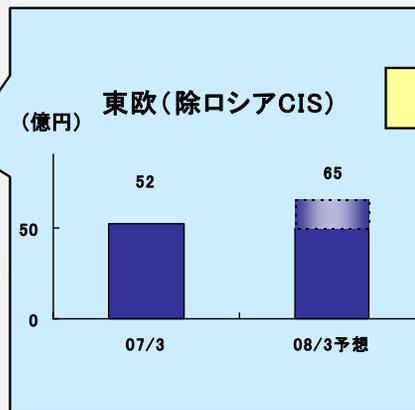
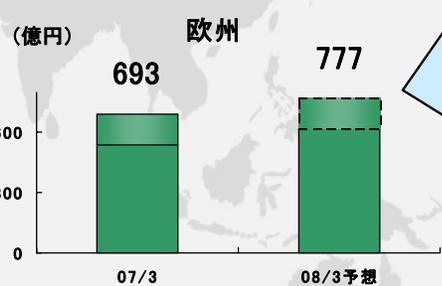
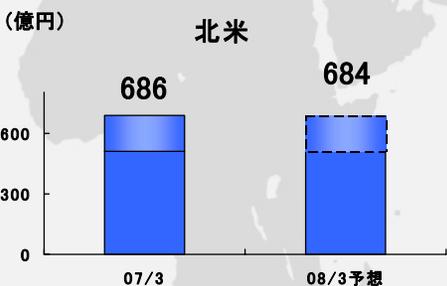


楽器事業(地域別の販売状況)

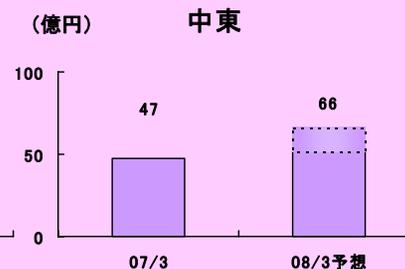
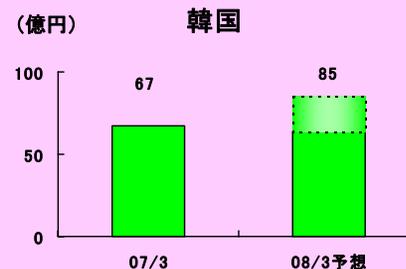
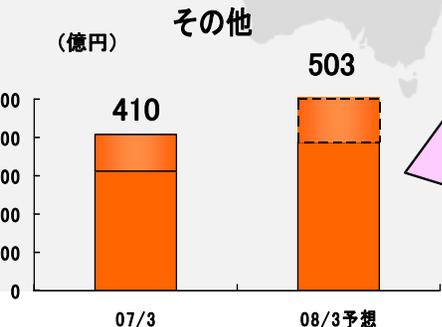
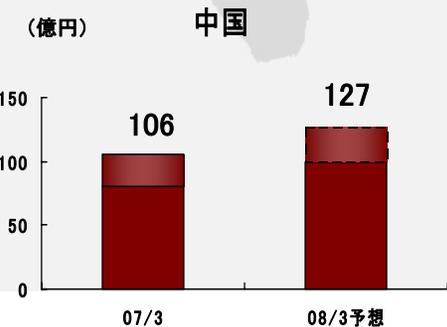
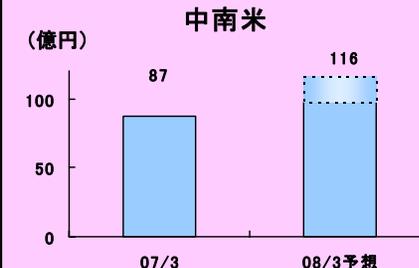


・1~3Qでの為替を除いた実質ベースでの前期比増減
 日本(±0%)、北米(▲1%)、欧州(+5%)、
 中国(+22%)、その他地域(+18%)

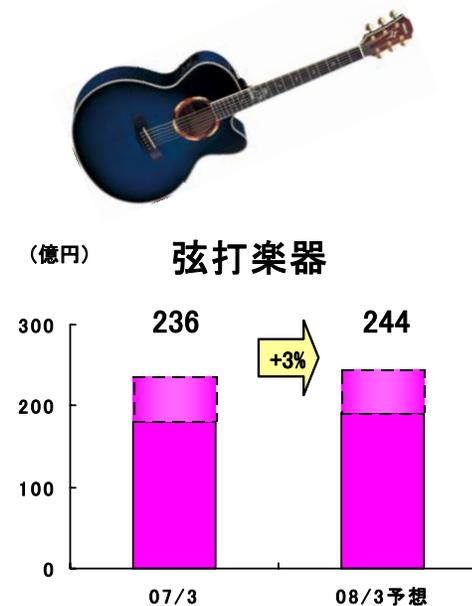
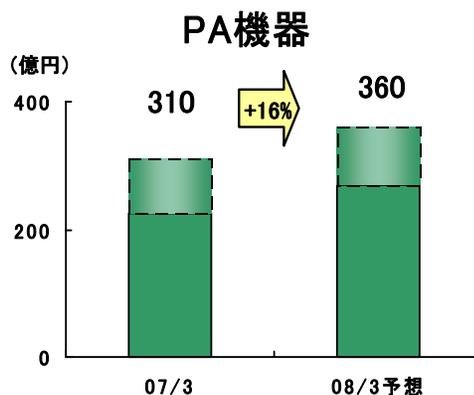
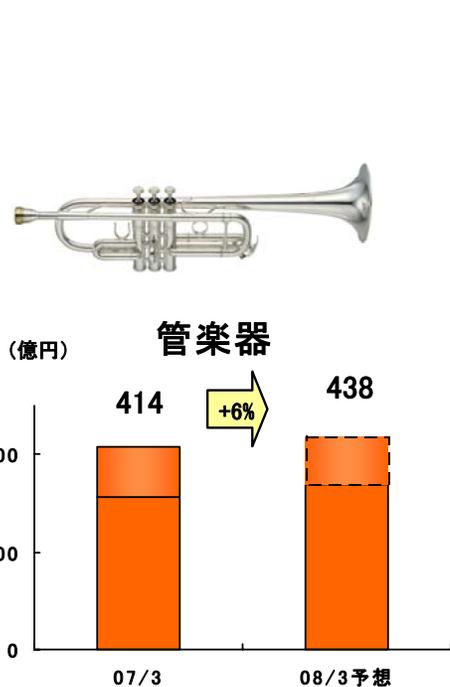
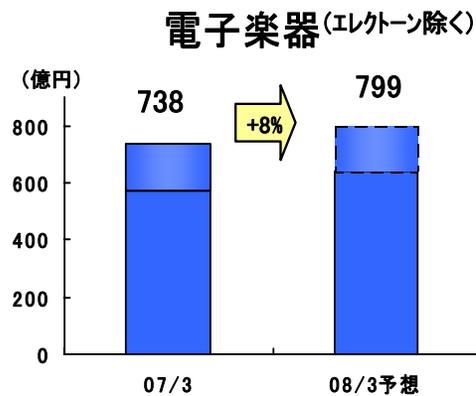
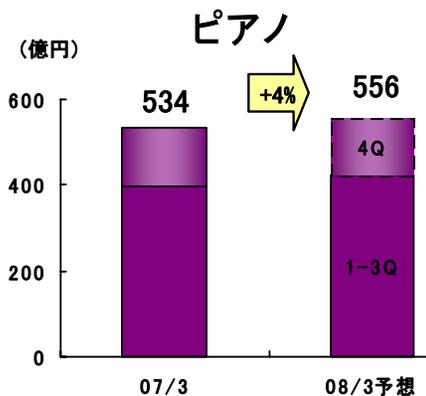
・通期での為替を除いた実質ベースでの前期比増減
 日本(▲2%)、北米(▲1%)、欧州(+4%)、
 中国(+19%)、その他地域(+19%)



成長市場の売上高



楽器事業(商品別の販売状況)

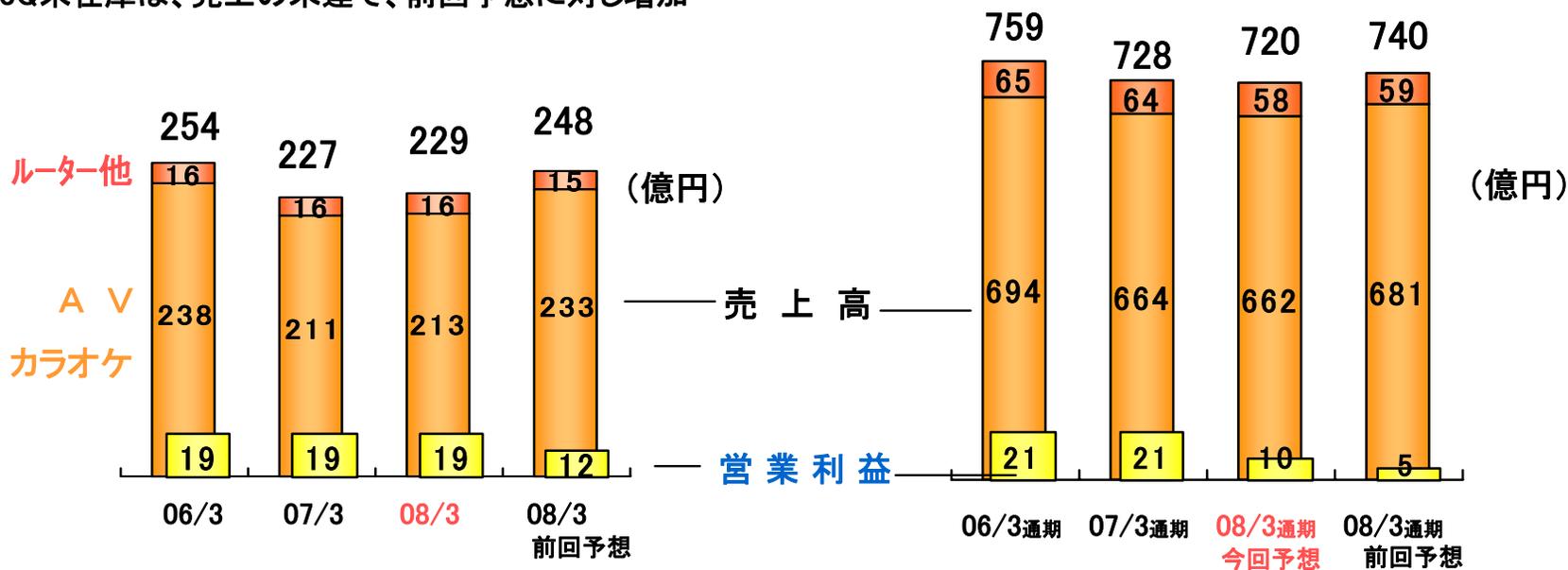


3Qの状況

- ・売上高、営業利益とも、ほぼ前年同期並み。対前回予想では減収増益
- ・為替影響を除いた実質売上高は、前年同期比2.6%の減収
- ・北米実質売上高は対前年同期微増。欧州は減収国内は引き続き低調。
- ・通信カラオケは対前年同期大幅な減少
- ・「YSP」は、第3四半期(4月～12月)までで、前年同期比21%増の65億円(87,000台)
- ・営業利益は、為替益を含めた売上総利益率の改善により、対前年同期、前回予想とも増益
- ・3Q末在庫は、売上の未達で、前回予想に対し増加

通期予想と4Q重点施策

- ・通期売上高は、前回予想を下方修正
利益は若干の増益見込み
- ・春の需要期に向けたAV新商品のスムーズな市場導入
- ・フロントサラウンド商品拡販
- ・中高級2ch Hi-Fiビジネス強化
- ・ルーターは差別化提案と新規顧客の開拓
- ・会議システム引続き認知度向上と販路開拓

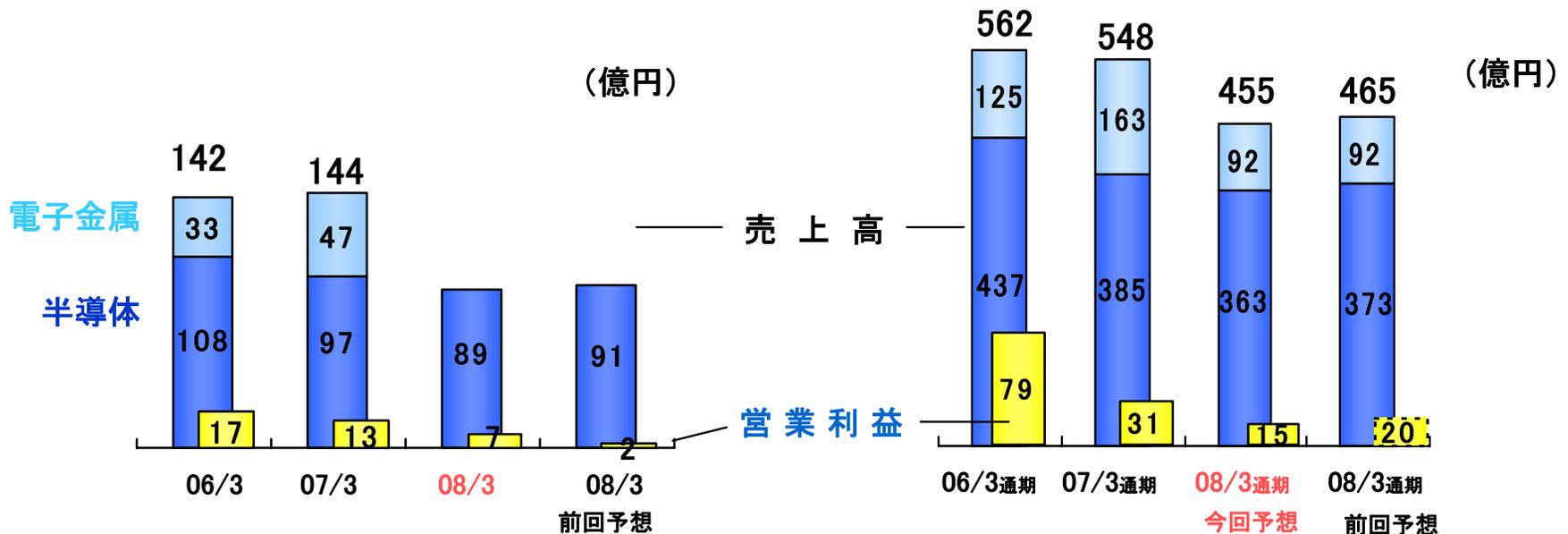


3Qの状況

- ・ 半導体は対前年同期減収減益。前回予想に対しては減収増益
- ・ 携帯電話用音源LSIは、海外を中心に、一段の需要縮小
- ・ デジタルアンプは薄型TV、携帯電話向け出荷拡大。アミューズメントも画像出荷増加
- ・ 電子金属事業は予定通り、11月末にて譲渡（連結対象からは3Qより除外）

通期予想と4Q重点施策

- ・ 通期売上高、営業利益を下方修正
- ・ 携帯電話用音源LSI、CODEC等の携帯端末向けLSIの売上維持
- ・ アミューズメント、デジタルアンプ拡販
- ・ 開発遅れのシリコンマイク市場導入

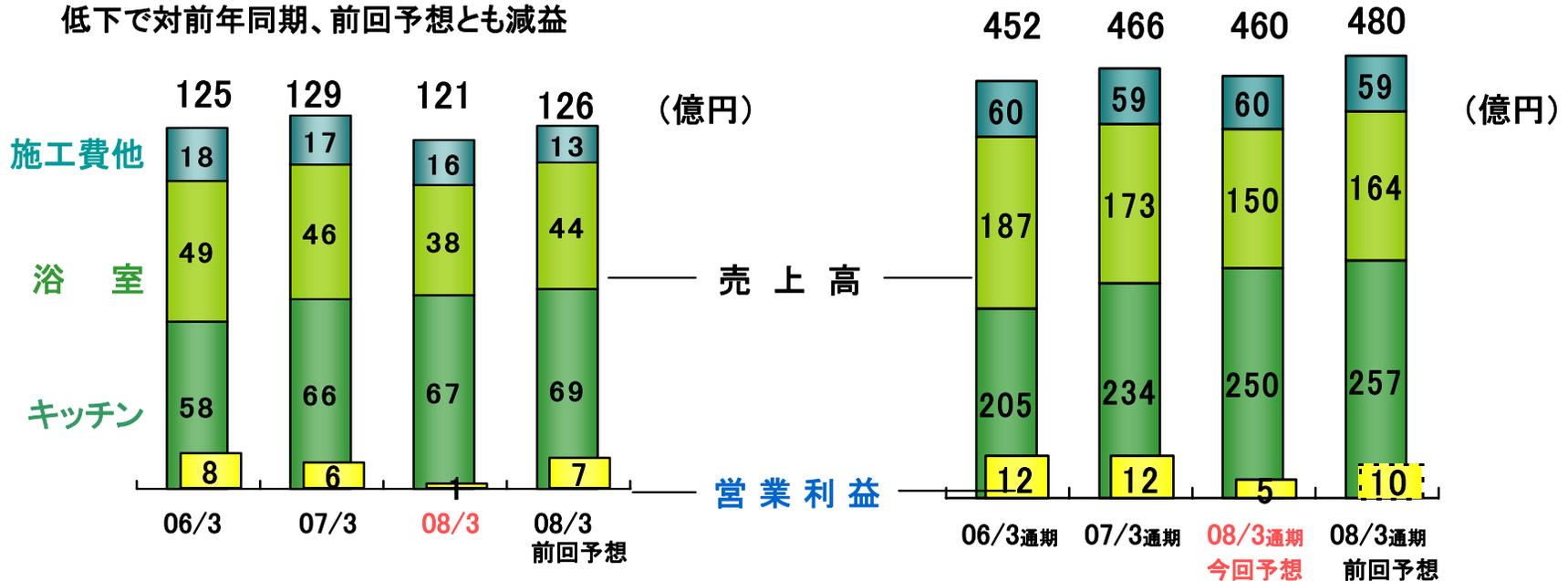


3Qの状況

通期予想と4Q重点施策

- ・ 対前年同期、前回予想とも減収減益
- ・ 建築確認申請遅れに伴う新築需要の減少継続。
期待のリフォームは、ほぼ前年同期並み
- ・ システムキッチンが予想を下回るものの、
前年同期に比べ増収。
一方、浴室は一層の単価低下で前年同期、
前回予想とも減収
- ・ 営業利益は、減収に加え、浴室単価の一層の低下、
樹脂等の原材料価格の上昇に伴う売上総利益率の
低下で対前年同期、前回予想とも減益

- ・ 市況悪化により、対前回予想減収減益の計画
- ・ システムキッチン拡販
浴室は人造大理石壁仕様の付加価値商品の拡販
- ・ ショールーム機能拡充とリフォームビジネス戦略強化

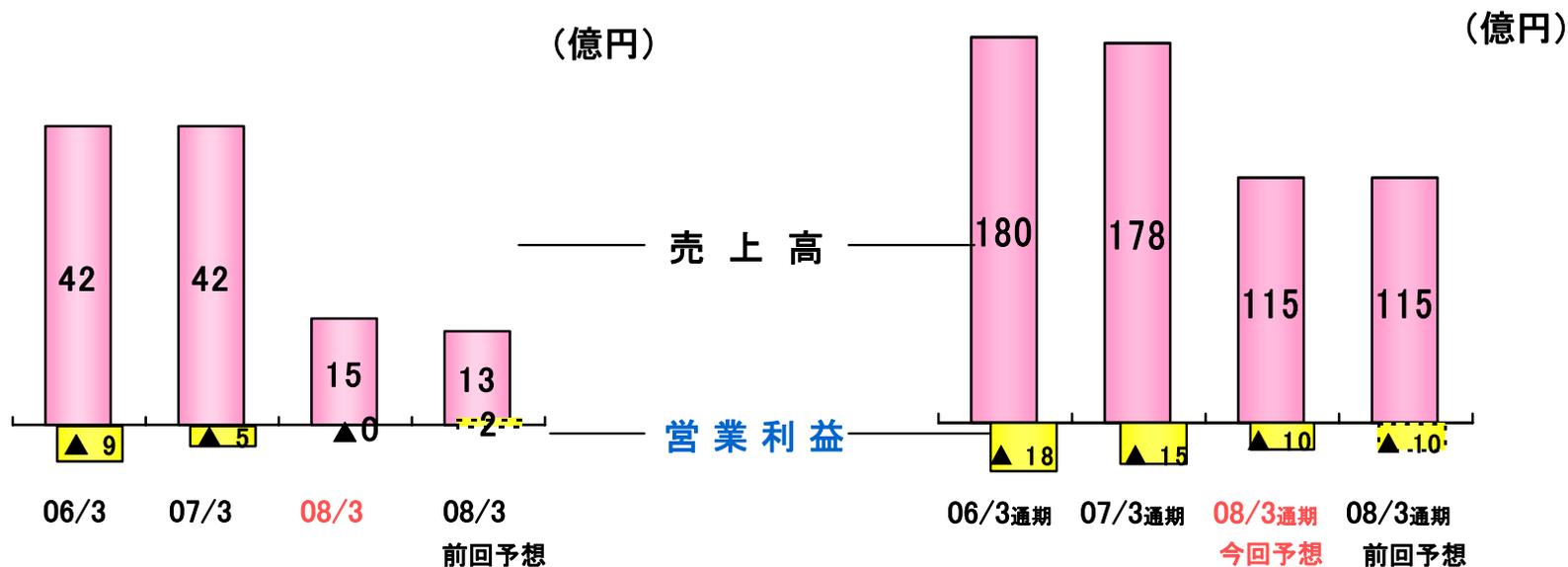


3Qの状況

- ・ 4施設の譲渡に伴い、対前年同期では損益改善
- ・ 譲渡した4施設を除いた売上高は対前年同期微減

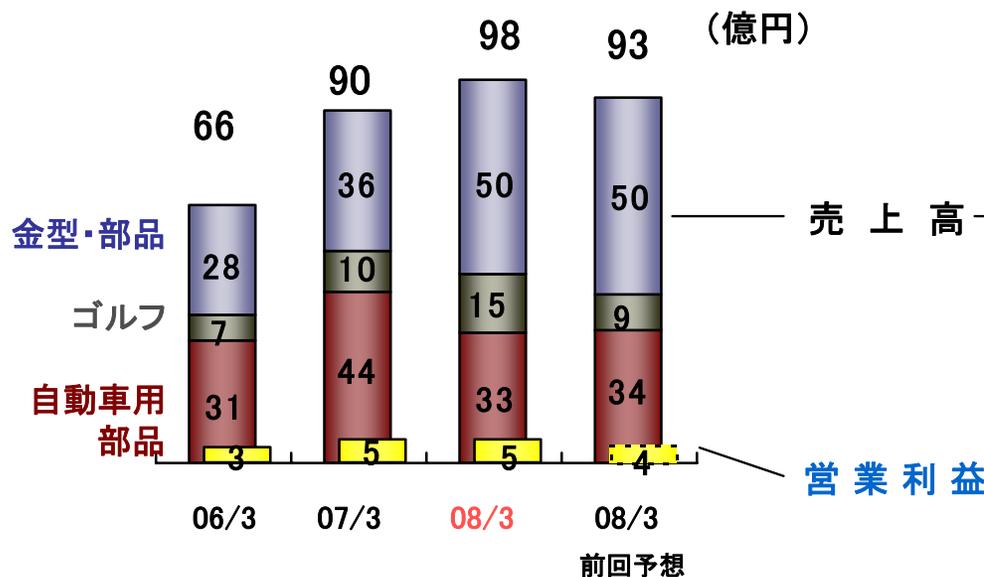
通期予想と4Q重点施策

- ・ 通期業績は前回予想据置
- ・ 「つま恋」「葛城」とも集客数拡大に注力
- ・ 特に「葛城」はゴルフトーナメント開催を軸とした販促展開



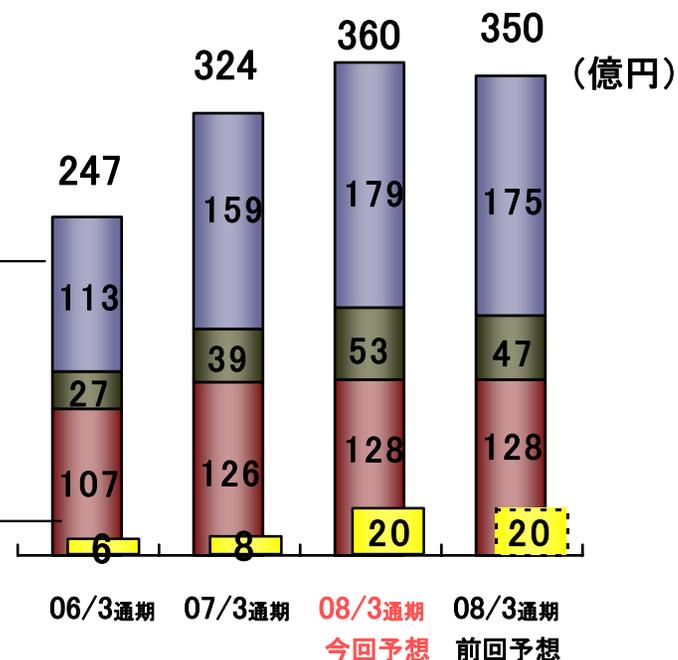
3Qの状況

- ・ 対前年同期、前回予想とも増収
営業利益はほぼ前年同期、前回予想並み
- ・ 自動車用内装部品は、歩留りが向上し、対前年同期損益改善。
一方、金型・部品事業はデジタルカメラ用途を中心に増産となるものの、歩留まり改善遅れで対前年同期、前回予想とも減益
- ・ ゴルフは、国内外とも好調継続



通期予想と4Q重点施策

- ・ 通期売上高は、前回予想を上方修正。利益は据置
- ・ 自動車用内装部品、金型・部品とも歩留り改善による製造原価の低減に注力
- ・ 自動車用内装部品は次期モデルへのスムーズな生産立ち上げ準備
- ・ ゴルフは“inpres”ブランド認知度向上策の展開継続

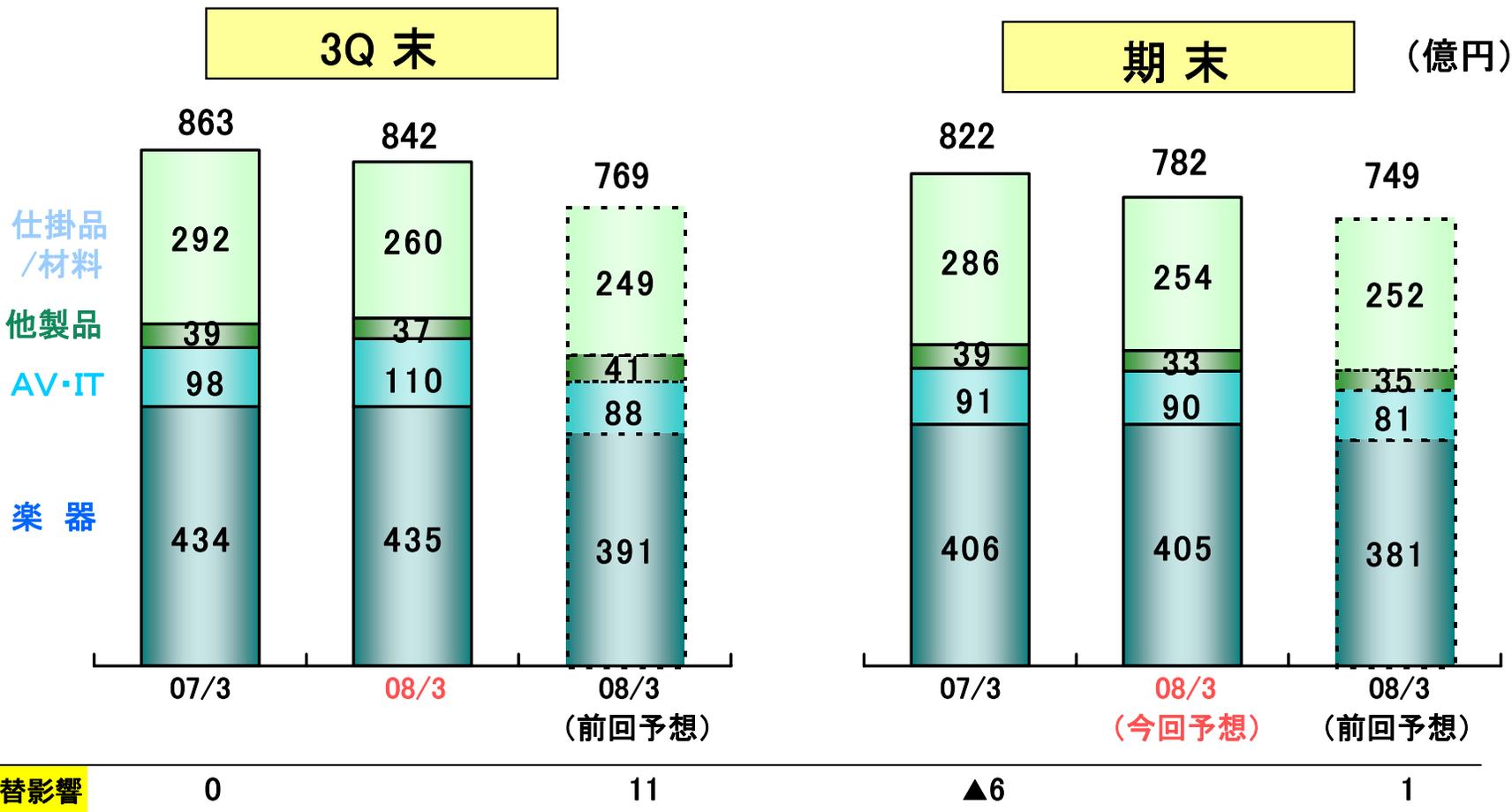


棚卸資産



➤3Q末総在庫は対前年同期21億円の減少。
 (事業譲渡した電子金属在庫を除けば19億円の増加)

➤前回予想に対しては、為替影響を除けば売上未達による楽器、AV完成品在庫の増加で実質62億円の増加



付属資料

- * 設備投資・減価償却費/研究開発費
- * 予想貸借対照表
- * 2008/3期 3Q営業外損益、特別損益
- * 2008/3期 通期営業外損益、特別損益
- * 日本市場のヤマハ楽器販売状況
- * アメリカ市場のヤマハ楽器販売状況
- * ドイツ市場のヤマハ楽器販売状況
- * 中国市場のヤマハ楽器販売状況

設備投資・減価償却費/研究開発費

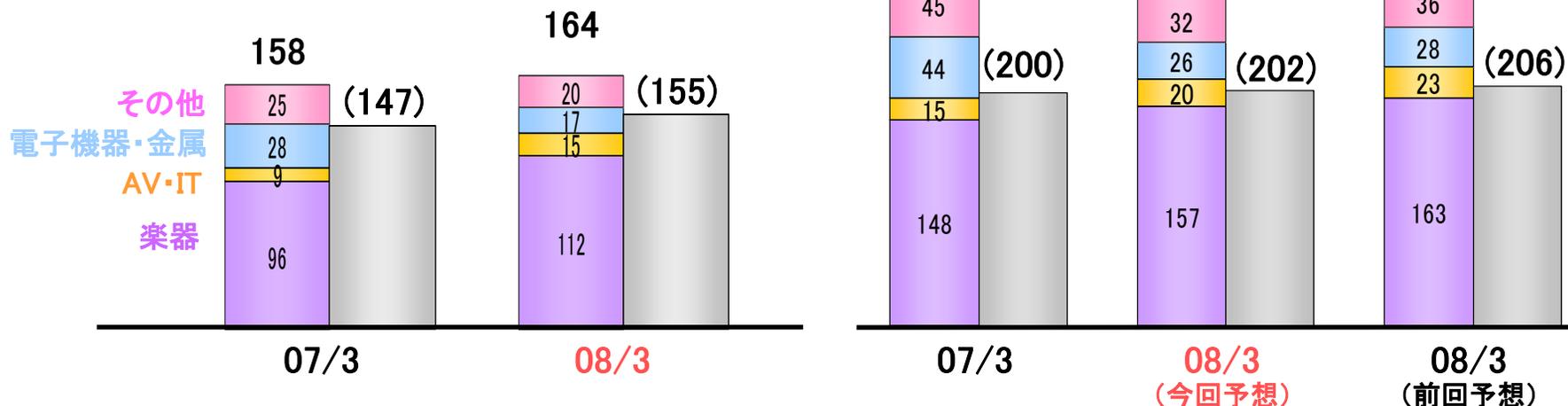


設備投資(減価償却費)

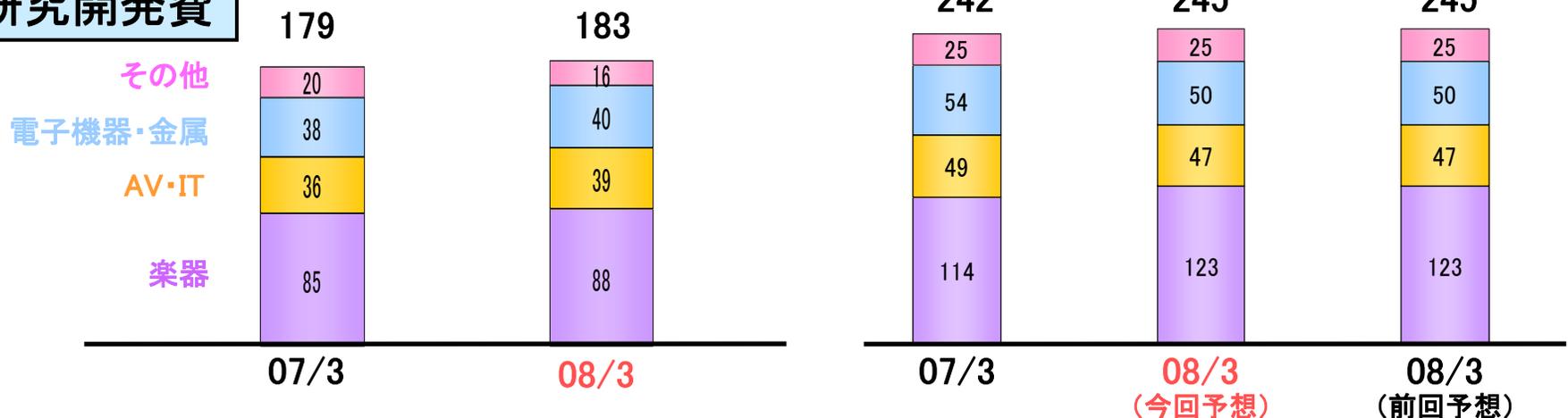
1-3Q期

通期

(億円)



研究開発費



予想貸借対照表



(億円)

| | 3Q末 | | | 期末 | | |
|---------------|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|------------|
| | 06/12末 | 07/12末 | 増減 | 07/3末 | 08/3末 | 増減 |
| 現預金 | 349 | 1,019* | 670 | 467 | 1,075* | 608 |
| 売上債権 | 898 | 851 | ▲47 | 766 | 705 | ▲61 |
| 棚卸資産 | 863 | 842 | ▲21 | 822 | 782 | ▲40 |
| 他流動資産 | 266 | 304 | 38 | 255 | 274 | 19 |
| 固定資産 | 3,237 | 3,042 | ▲195 | 3,280 | 3,060 | ▲220 |
| 資産計 | 5,613 | 6,058 | 445 | 5,590 | 5,896 | 306 |
| 仕入債務 | 425 | 383 | ▲42 | 432 | 368 | ▲64 |
| 借入金 | 352 | 305 | ▲47 | 256 | 240 | ▲16 |
| リゾート預託金 | 268 | 176 | ▲92 | 267 | 167 | ▲100 |
| 他負債 | 1,046 | 1,389 | 343 | 1,121 | 1,404 | 283 |
| 純資産計 | 3,522 | 3,805 | 283 | 3,514 | 3,717 | 203 |
| 負債純資産計 | 5,613 | 6,058 | 445 | 5,590 | 5,896 | 306 |

※07年12月末及び08年3月末の現預金残高には譲渡性預金314億円含む

2008/3期 3Q営業外損益、特別損益



| | 07/3(3Q)実績 | 08/3(3Q)実績 | 08/3 (3Q)前回予想 |
|--------------|------------|---------------|---------------|
| | | | (億円) |
| 営業外損益 | | | |
| 持分法利益 | 36 | 0 | 0 |
| 金融収支 | ▲1 | ▲1 | ▲2 |
| その他 | ▲10 | ▲4 | ▲11 |
| 計 | +25 | ▲5 | ▲13 |
| 特別損益 | | | |
| | | ・投資有価証券売却益 22 | |
| 固定資産処分損益 | 0 | 2 | 2 |
| その他 | ▲1 | 21 | 16 |
| 計 | ▲1 | +23 | +18 |
| 法人税他 | | | |
| 法人税等 | 29 | 44 | 39 |
| 少数株主利益 | 2 | 2 | 1 |
| 計 | 31 | 46 | 40 |

2008/3期 通期営業外損益、特別損益



| | 07/3実績 | 08/3今回予想 | 08/3前回予想 |
|--------------|--------|----------|----------|
| (億円) | | | |
| 営業外損益 | | | |
| 持分法利益 | 178 | 1 | 1 |
| 金融収支 | 1 | 26 | 25 |
| その他 | ▲30 | ▲32 | ▲41 |
| 計 | + 149 | ▲5 | ▲15 |
| 特別損益 | | | |
| 固定資産処分損益 | ▲11 | 8 | 7 |
| その他 | ▲84 | 292 | 288 |
| 計 | ▲95 | +300 | +295 |
| 法人税他 | | | |
| 法人税等 | 47 | 233 | 229 |
| 少数株主利益 | 5 | 7 | 6 |
| 計 | 52 | 240 | 235 |

・ヤマハ発動機配当金 17

・ヤマハ発動機配当金 17

・ヤマハ発動機株式売却益 278
 ・投資有価証券売却益 22

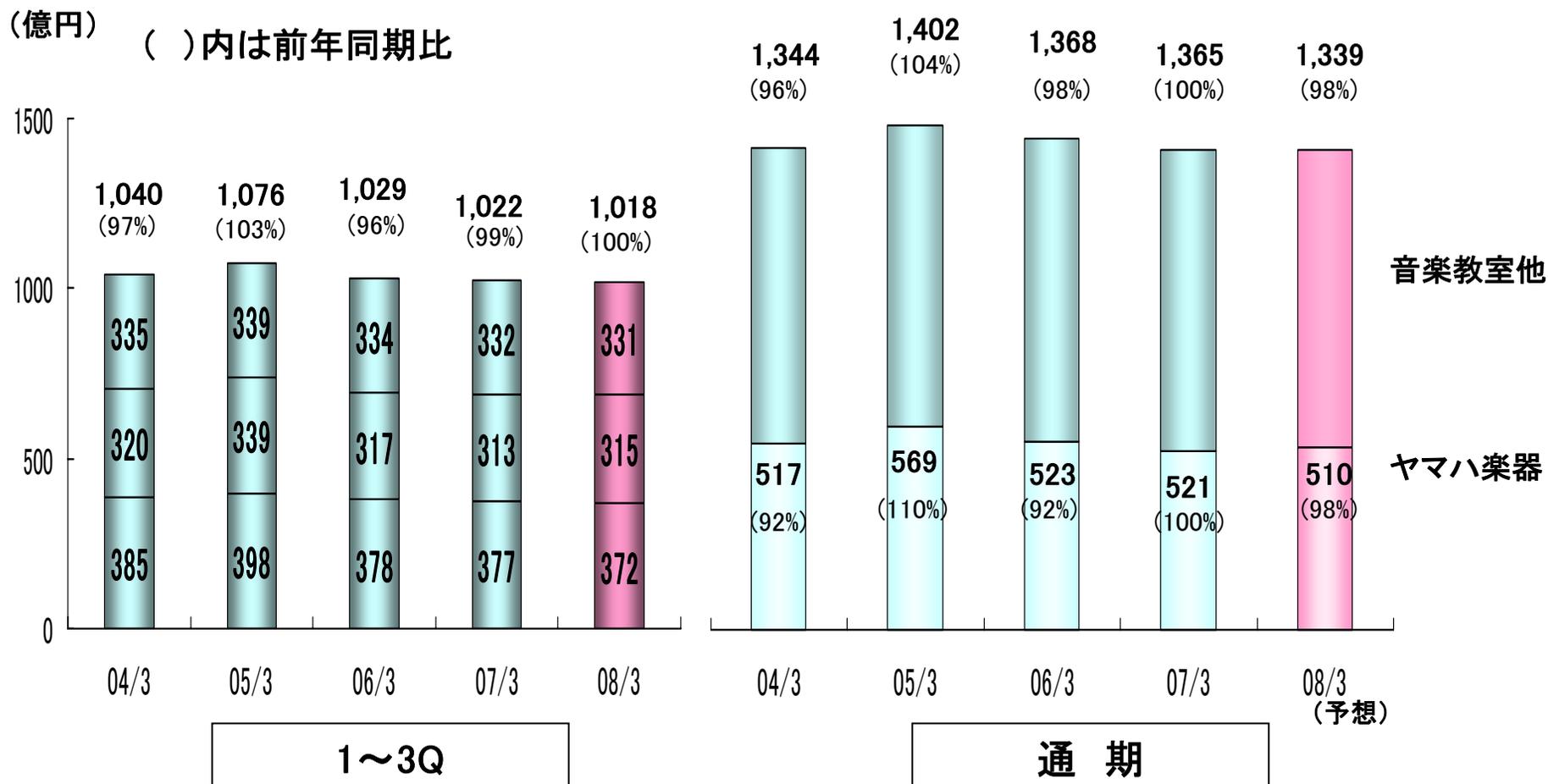
・リゾート減損損失 ▲47
 ・海外工場解散 ▲32
 ・特別退職金 ▲7

・ヤマハ発動機株式売却益 278

日本市場のヤマハ楽器(PA機器含む)販売状況



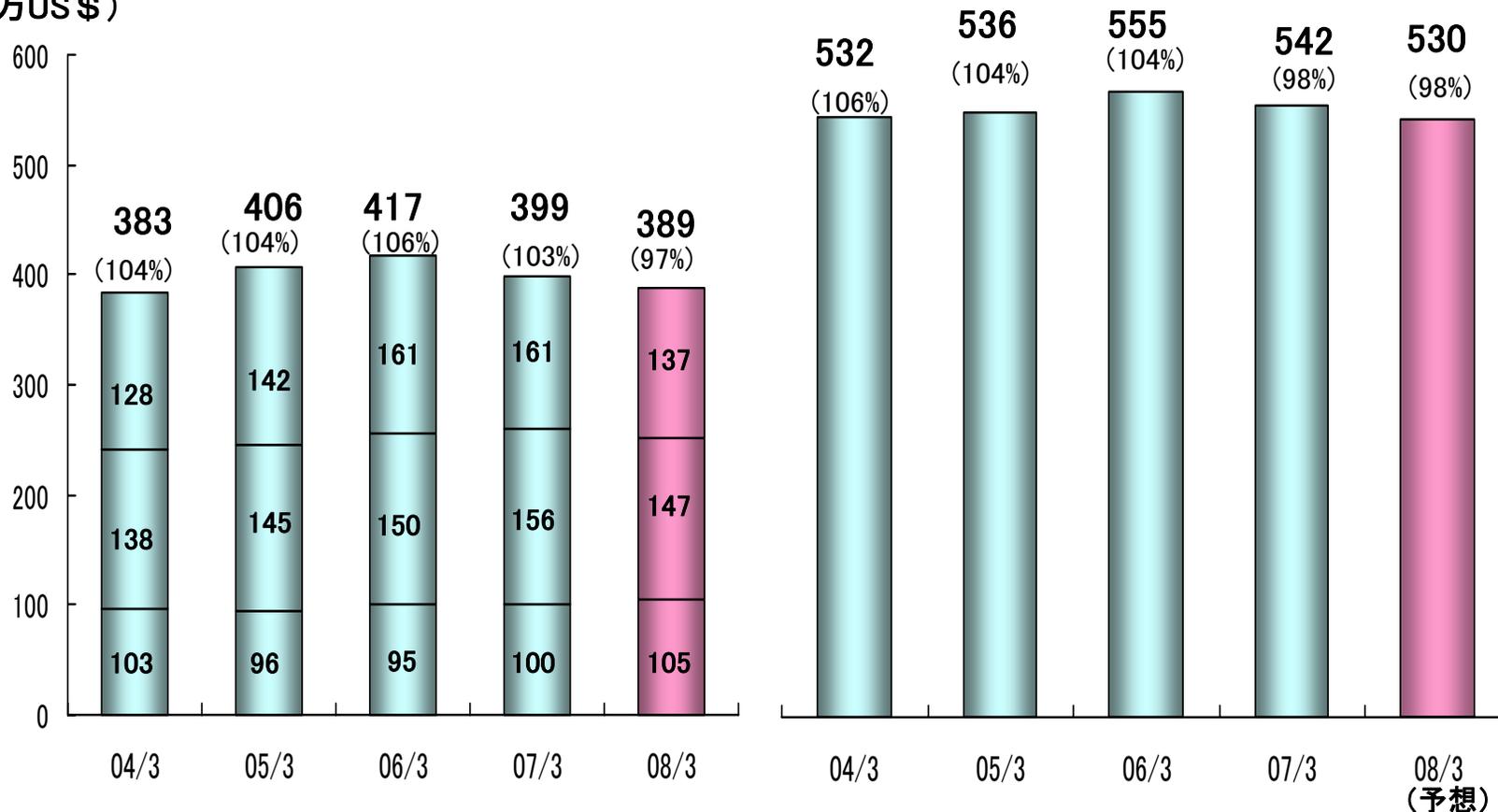
電子楽器、管楽器、PAが堅調に推移するものの、年末商戦の盛上がり鈍く、売上高は前年並みに留まる。教室収入は堅調。



アメリカ市場のヤマハ楽器(PA機器含む)販売状況

年末商戦はスローな動き。ピアノ市場の大幅な落ち込みや大手量販店での苦戦もあり、3Q累計前年減。管楽器や業務用音響機器では堅調に推移したが、全体をカバーするには至らず。

卸金額
(百万US\$)



1~3Q

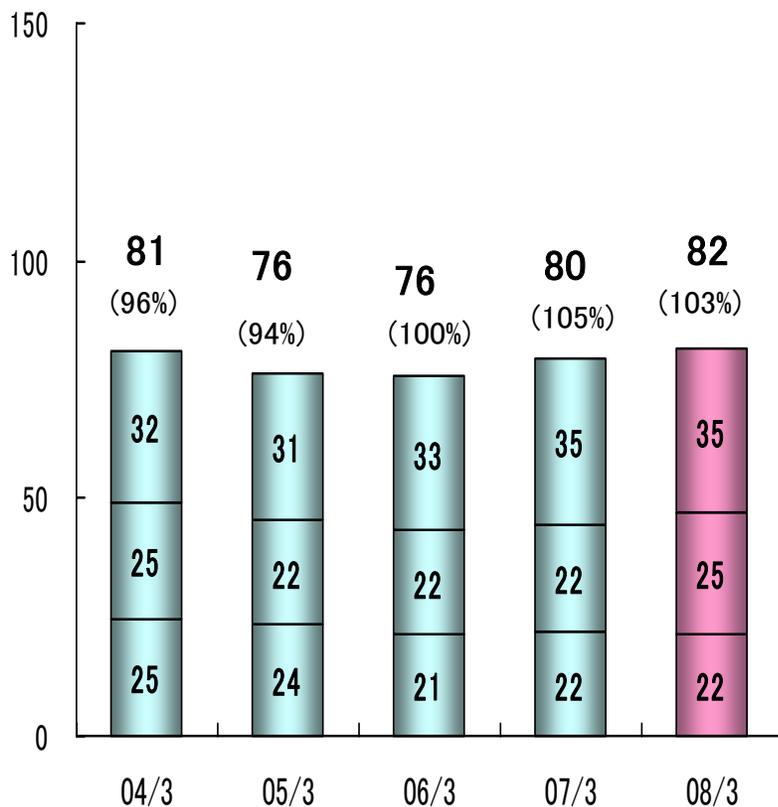
通期

ドイツ市場のヤマハ楽器 (PA機器含む) 販売状況

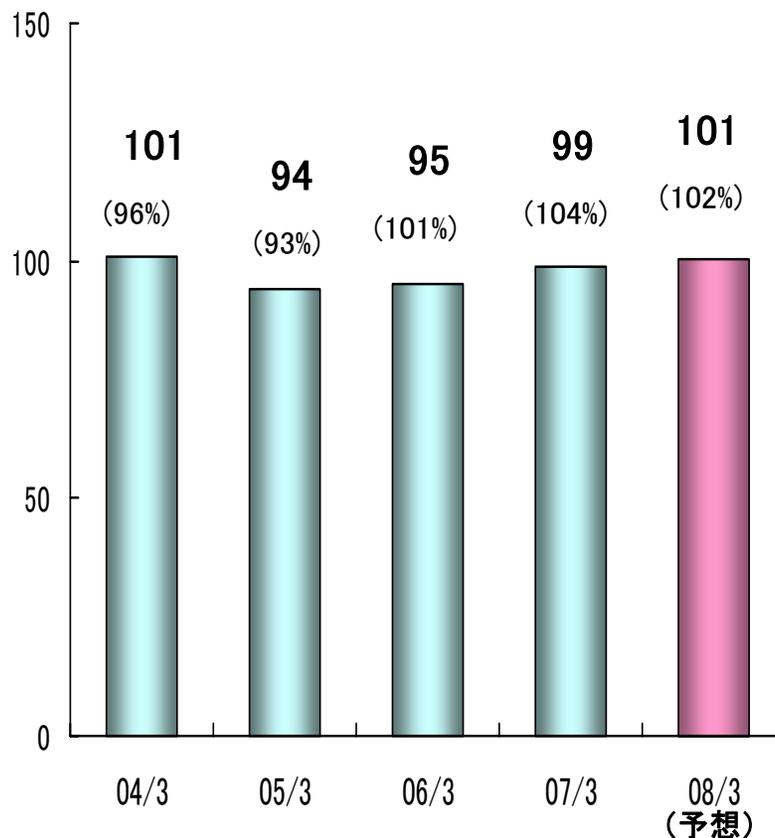
上半期は好調に推移したが年末商戦はスローとなった。グランドピアノ市況は停滞したが、アップライトピアノ新商品が貢献した他、夏発売のデジタルピアノ新商品が伸長。業務用音響機器も好調を持続。

卸金額

(百万ユーロ €)



1~3Q



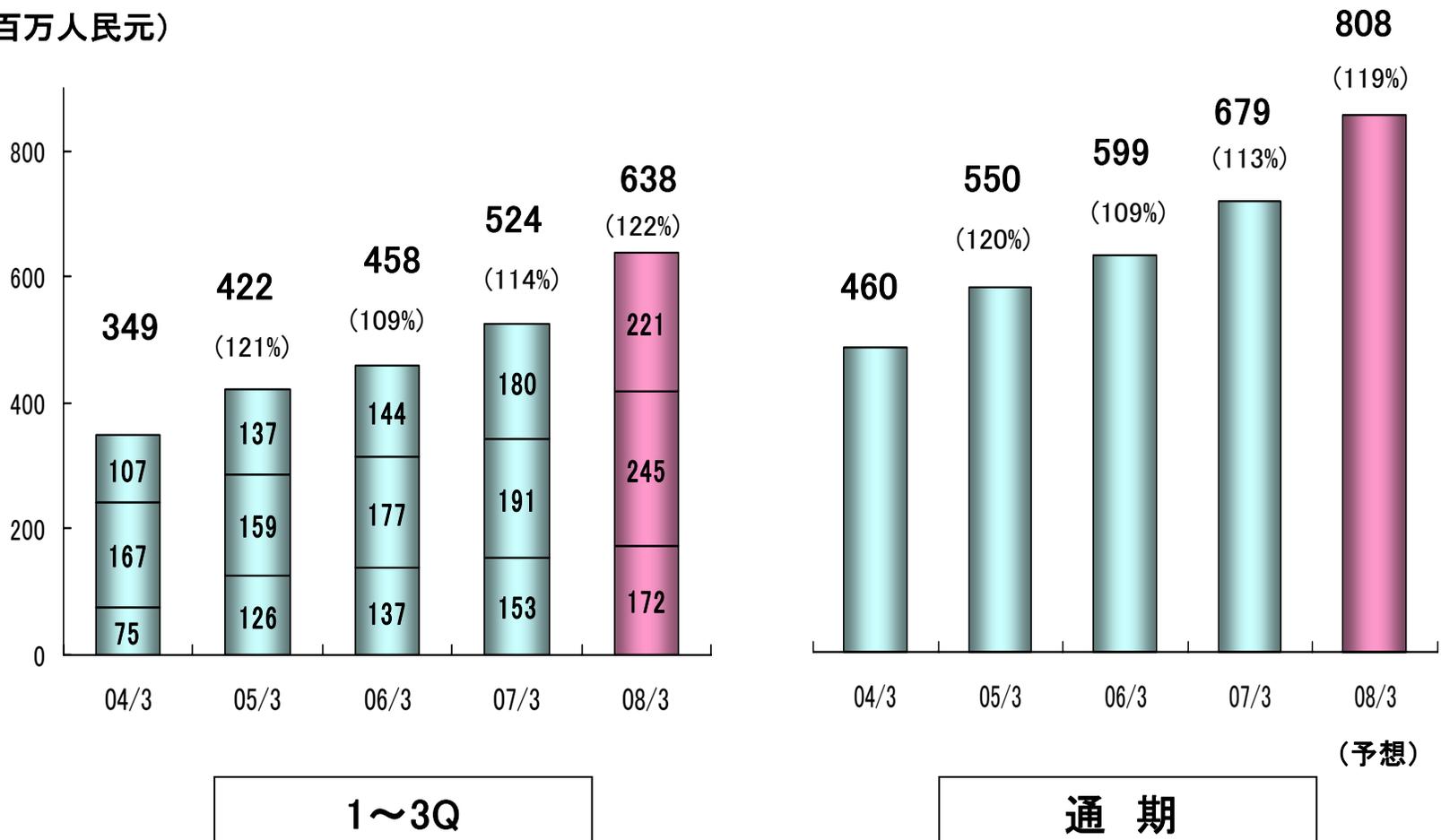
通 期

中国市場のヤマハ楽器 (PA機器含む) 販売状況



売上の5割近くを占めるピアノで、現地製新商品好評。販売網政策進展、TVCF放映等の要因を背景に高成長、他の楽器商品も着実に伸長し、2桁成長を持続。

卸金額
(百万人民元)



(予想)

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基いており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。